

令和8年度 第4回 大学院セミナー

令和8年 3月18日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	硬組織発生再生学分野 責任者名(松下 祐樹) 内線(7633)
演題 Title	環境と代謝から読み解く生殖細胞発生： 口腔細菌叢を含む全身環境との関連
講師等 Presenter	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命医科学分野 准教授 林 陽平 先生
概要 Abstract	<p>哺乳類の生殖細胞発生は、胎児期における始原生殖細胞の形成に始まり、雌雄生殖細胞への分化、精子・卵といった配偶子形成を経て、受精を介して次世代へと継承されるという連続的なサイクルを構成している。この過程は遺伝的プログラムのみによって決定されるものではなく、母体内環境、出生後の栄養を含む生活環境、さらに腸内や口腔細菌叢などの体内環境といった多様な環境要因の影響を受けることが明らかになりつつある。これらの環境要因は、生殖細胞分化の制御や配偶子のエピゲノム状態の変化を介して、生殖機能のみならず次世代の表現型にも影響を及ぼす可能性がある。</p> <p>これまで私は、主にマウス胎仔期の生殖細胞分化過程に着目し、生殖細胞に特有の代謝変化とその分化制御における役割について解析を進めてきた。また、母体の栄養環境の変化が胎仔期の生殖細胞形成および分化に影響を与えることも明らかにしてきた。本セミナーでは、これらの研究成果を概説するとともに、現在進めている出生後の配偶子形成過程における環境要因の影響に関する研究について紹介する。さらに、口腔細菌叢の破綻が配偶子形成や配偶子の状態に及ぼす影響に関する解析結果にも触れ、口腔環境を含む全身環境と生殖サイクルとの関連について議論したい。</p>
開催日時 Date and Time	令和8年 5月14日(木) 18:00 ~ 19:30
開催方法 Online/Face to face	対面： 医歯薬総合教育研究棟(歯学部 C 棟)3階 講義室 3B
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)